

校 園 長 だ よ り

学校園教育目標「たくましく自立する子どもを育てる」

4号

令和2年5月18日
岸和田市立修斉小学校
Tel: 427-5913

保護者の皆様へ

現在も緊急事態宣言が続いています。ですが、全国的にも、また、大阪府下においても感染状況は日ごとに好転しております。子どもたちと保護者の皆様の頑張りのおかげです。本当にありがとうございます。

この間、各家庭に、各学年の担任より健康観察や家庭学習の進捗状況を確認するための電話をさせていただきました。保護者の皆様には、電話対応等ありがとうございました。

子どもたちの「安全」と「学び」を保障するために

本日から「学年別」の登校日が始まりました。また、現時点では6月1日から学校が再開される予定ですが、三密状態（密接、密集、密閉）を防ぐため、当面の間は「分散登校」になる可能性があります。（詳細については決定次第、連絡させていただきます。）毎日の検温、マスクの着用、手洗いの取行、一定時間ごとの換気等は必須です。また、体育・音楽など今まで「全員で受けていた」授業も、その内容を大きく変更します。今まで“当たり前”だった「(普通)に学校に行って、授業を受け学ぶ」ことができなくなっています。

2か月以上にわたる休校で多くの授業時間が失われてしまいました。失われた授業時間をどのように取り戻すかが、修斉小学校の喫緊の課題です。学校としては、現時点で以下のように考えています。

1. 家庭学習の充実

今回の緊急事態宣言を受け、文部科学省の指針をもとに、大阪府教育庁から、「家庭学習が一定の要件（※）を満たし、学校長が再度指導の必要がないと判断したものについては、学校の再開後等に当該内容を再度対面指導で取り扱わないこととすることができる。」と示されました。

（※一定の要件とは・・・①教科等の指導計画に照らして適切に位置づくものであること ②教員が児童生徒の学習状況及び成果を適切に把握することが可能であること・・・です。）

漢字の学習（書き取りや反復練習）・音読・計算などの反復練習を課題として子どもたちに取り組んでもらい、学校では、**家庭で学習した内容が身についたかどうかを確かめながら**、授業を進めていきます。「家庭学習で子どもたちが学びを補完し、子どもたち自らが学びの定着を確認し、確実に学力を身に付けていく」・・・この「自らが学びを続けようとする姿勢」は、今年度より小学校において改定された新学習指導要領の中で“主体的に学びに向かう力”の1つに挙げられている資質です。難しいですが、与えられるのを待つのではなく、自ら学ぶ姿勢を子どもたちに持たせることで充実した「学び」を実現していきます。

2. 行事の精選

三密状態を防ぎつつ、授業数を確保するために、年間の学校行事を見直します。例えば、

- ・授業参観は当面中止します。（代わりに、「オープンスクール」を学年・学級ごとに、分散して実施することを考えています。
- ・運動会については、表現種目（フラッグやダンス）を中止し、その練習に充てていた時間を授業に充てます。また、音楽会も、合奏を中止して合唱のみにする、「オープンスクール」の際に、学年・学級ごとに体育館で行う・・・等を検討中です。
- ・社会見学等の校外での活動は、本年度は基本的に中止し、授業を行います。（修学旅行と臨海学舎、秋の遠足については検討中です。）また、水曜日のクラブ・委員会についても、可能な限り授業に振り替えます。創立記念日も授業をします。

※台風による授業の中止や冬場のインフルエンザ等による学年・学級閉鎖も考えられます。学校として、やむにやまれぬ状況に至った場合は、土曜日の授業や7時間授業も考慮する場合があります。

3. 心の居場所としての学級づくり

今までと違う学校生活を過ごさなければならぬ子どもたちには、何よりも「居心地のよい学級(学校)」が必要です。全教職員が一丸となって「心の居場所としての学級(学校)づくり」を目指します。

今後の情勢により、変更等の可能性もありますが、保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

校 園 長 船 越 康 治